

# ほっとNEWS

WAKOKAI

私たちの「広」を誰もが「ほっと」する、そんな「街」に。

2021

Spring

vol.59

和恒会  
創設60周年記念号

WAKOKAI 60th ANNIVERSARY





## 非営利性の徹底と 医療・介護の安定的な供給

医療法人社団 和恒会 理事長 織田一衛



和恒会(以下、「当法人」という)の沿革は、1961年に開院した早川病院にさかのぼる。1988年に208床に増床し、1994年に法人化した。さらに、2015年には、持続性および公益性の担保できる「持ち分なし」医療法人に改組した。

これまで、一貫して精神障害者が自立して地域で暮らし、かつ社会に貢献できる存在とされるように支援してきた。事業は、ふたば病院(精神病床数208床(現在は186床))を中核に、精神科デイトケア、重度認知症患者デイケア、広島県認知症疾患医療センター、介護老人保健施設「パナケイア」、短期入所生活介護事業所、通所介護事業所、特定施設入居者生活介護事業所、サービス付き高齢者集合住宅、共同生活介護事業所、地域活動支援センター、共同生活援助事業所、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、地域包括支援センター、外国人技能実習生介護宿舎、そして、ふたば保育所を運営している。

法人の責務は、職域における『良好な心理社会的環境』の整備、職員の『健康』の推進にあるという認識から、その成功のための必要条件に『トップダウン方式の廃止』『個人レベルおよび組織レベルで仕事を完了すること』を挙げている。

当法人の理念は「科学と倫理と心の融合」である。科学的根拠に基づく医療・介護、倫理観に裏打ちされ将来を見通せる公明正大な経営、そして長年にわたり培ってきた「和のこころ」が融合するとき「真」の和恒会が生まれる、という趣旨である。

この理念に基づく基本方針は、①患者さん、利用者さんを中心とした心の通った支援 ②生活・活動拠点となる諸施設の整備・充実 ③施設間、施設と地域間の緊密な連携と信頼関係 ④人材の確保と教育・研修体制の充実健康確保 ⑤働きやすい環境づくり、この5点である。

ところで、そもそも、精神科病院とは精神疾患に罹患した患者の治療と回復を業務とすべきものであって、精神障害者の住居の確保や生活支援が主たる任務ではない。翻って、精神科病院であるわがふたば病院の現状はいかかなものだろうか。約180名の入院患者のうち半数が社会的入院であるとも考えられる。また、認知症以外の患者の平均年齢は65歳を超えている。すなわち、認知症以外の入院患者の半数はすでに医療の対象ではなく、介護や障害福祉サービスの対象となっている可能性が高い。外来通院患者数・新規外来患者数が減少していることも併せて、紙面の都合上詳細は省くが、これまで、パターンリズムによる収益を確保することで運営されてきたふたば病院中心の当法人を、時代が否応なく要請してくる「あるべき姿」にパラダイムシフトさせるビジョンと戦略を立て実行する知的機動力が我々に備わっているのだろうか。



ふたば病院 看護・在宅事業部長 長畑 稔



2005年頃



私がふたば病院に就職したのは昭和63年9月1日でまだ早川病院の時代でした。この年は東京ドームが完成し、ソウルオリンピックが行われた年であったように記憶しています。今思えば精神衛生法から精神保健法に変わった年であり、入院中心の治療体制から地域におけるケア体制へという変革の時代の始まりだった年でもあったように思います。

あれから30年余り経ちましたが様々な出来事や多くの人々との出会いと別れがありました。ご逝去された前理事長の森川先生をはじめ多くの方達(先生方、同僚、患者様など)との出会いと別れがありました。出会いは緊張と不安そして楽しみもありますが、別れには悲しみや空虚感はありません。しかしこういった感情も人として生き、看護師として働いていくためには必要であり、良い経験となっていると思います。現在までふたば病院に席を置くことができていくのもこうした経験があったからこそだと思っています。そして現在進行形で出会ってきている織田理事長、高見院長をはじめ先生方、川本統括看護部長、同僚などの皆さんのおかげかと思えます。ふたば病院(和恒会)が広の街に益々根ざしていくためにもこれからも多くの人と出会っていけたらと思います。

最後に和恒会創設60周年を迎えることができたことは、これまで多くの方々にご指導、ご尽力いただいた結果であり、感謝を申し上げます。これからも精神医療の発展、そして地域の皆様方との信頼関係を築いていけるよう取り組んでいきたいと思っています。

ふたば病院 薬剤室 室長 田村 耕一郎



2011年頃



私がふたば病院へ入職したのは平成23年5月です。それまで精神科の分野にはあまり関わったことがなく新たな領域へのチャレンジに胸を膨らませていたのを覚えています。当時はまだ前理事長の森川先生がご存命で和恒会の指揮を執っておられました。入職して間もなく森川前理事長より「広ほっとタウン構想」についてのお話を拝聴し、その中で外来処方を院内処方から院外処方へ切り替えたいといった旨、また地域連携強化のため当院の院外処方箋を主に応需する保険薬局へ勤務してもらえないだろうかといった相談を受け、約1ヶ月後には当時のめだか薬局へ管理薬剤師として勤めることとなりました。それから約2年半の月日が流れ、めだか薬局での仕事がようやく軌道に乗ってきたと思い始めていた矢先に森川前理事長がご逝去されました。

それから約半年後、織田理事長、川本統括看護部長からお誘いを受け、再びふたば病院へ勤務することとなりました。病院に戻ってから現在に至るまでの間、様々な出来事がありました。薬剤室スタッフの病気や事故による休職者が重なり業務が滞ってしまっていた時期には川本統括看護部長から何か手伝えることはないかと声をかけたいただき看護部から加勢していただいた事がありました。周りの方々のサポートのお陰でこれまでやっていくことができました。ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

創設60周年といえば人間に例えると還暦ですが、和恒会はまだ定年退職を考える年ではありません。これからの明るい未来を掴み、次の世代に繋げていく必要があります。織田理事長がお示しになられた「和恒会のSDGs」を達成するために、私達自身が何をすべきか考え行動していくことが明るい未来を掴む鍵であると考えます。

介護老人保健施設パナケイア 総師長 藤岡 多美子



1990年頃



この度「和恒会とわたし」と言うテーマを頂き、遠い記憶を思い起こす機会を得ることができました。私と和恒会との繋がりは、遡ること35年前、嘗ての早川病院へ入職した事からです。下の子供が3歳の時、今で言うママ友(現在も一緒に勤務している)に「看護師さんじゃろ、一緒に働かん?」と誘われたのがきっかけでした。精神科と言う未知の領域でしたが飛び込んでみたい気持ちもあり、まずはパートからと気楽な思いで勤め始めました。精神科の歴史を迎えるような経験も私には新鮮な事だったと記憶しています。

それから、1年もしない時、嘗ての理事長(森川理事長)から「看護学校に行ってみないか」と言われたことがきっかけで私の生活は一変しました。仕事、学業、家庭と目まぐるしく時間は過ぎ去っていきました。その間は、バタバタの生活でしたが、私の近くに居た仲間存在は大きく心の支えとなっていました。それから「ふたば病院」が開設され和恒会という大きな組織となった中でも、いつも仲間の顔を見ると何故かほっとする気持ちになります。これまで、和恒会を通して多くの人との出会いと別れを経験し、人と人との繋がりによって私は一步一步成長できたと思っています。

今まで御指導頂いた皆様に感謝し、これからの人達との繋がりを大切に日々努力していきたいと思っています。和恒会と私の繋がりを心の宝物として大切に、残り少なくなってきた和恒会との時間は、若者からのパワーを刺激にして、もっと宝物が増えるよう自分自身奮い立たせ精進して参ります。「和恒会とわたし」は、心の中で永遠に繋がっているのです。

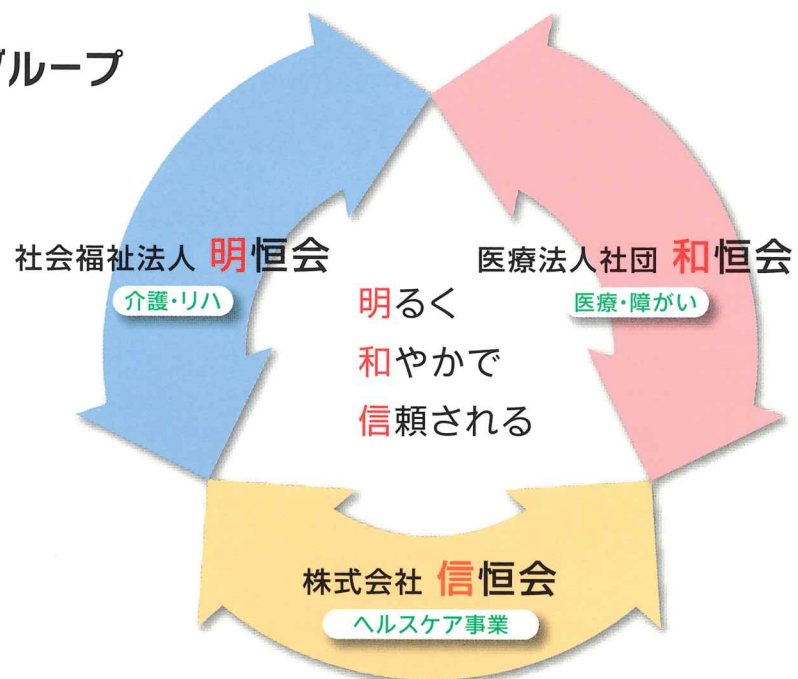


## 01 THREE ARROWS PROJECT



### ヘルスケア ほっとたうんグループ

地域に安心して信頼されるグループへ進化するために、3本の矢に見立てた3つの事業で、地域へ貢献していきます。新たに、児童思春期対象クリニック・地域密着型介護老健福祉施設・ヘルスケア事業を立ち上げることで、地域へ貢献していきます。



## 02 2025年に向けての事業計画

超少子高齢化社会と呉市の人口推計を背景に、地域に寄り添う法人としてのあるべき姿を計画しています。



- ◎ふたば病院病床機能分化
- ◎認知症治療・介護・リハビリ・生活支援の在り方検討
- ◎バナケア在宅復帰超強化型算定
- ◎科学的裏付けのある自立支援介護
- ◎働き方改革(人事制度、人事考課制度)の推進
- ◎事務処理の効率化
- ◎ロボット・AI・ICT等の実用化推進
- ◎ふたば病院日本医療機能評価機構認定更新



- ◎コスト削減・ファシリティマネジメント
- ◎ホームページ、採用、ブランディング戦略、ワークシェア、キャリアアップ
- ◎組織力強化研修
- ◎前方・内部・後方連携の構築
- ◎児童思春期専門クリニック新設
- ◎保険外事業
- ◎社会福祉法人設立
- ◎外国人介護人材確保育成事業推進

## 03 KOKAGE TERRACE 光を聴き風を視る



アプローチ：緑地部分が内部へと立体的につながる



3階外部テラス：格子状の屋根が美しい光を落とす

KOKAGE TERRACE(こかげてらす)は、呉市西中央に2021年度開設予定の児童思春期専門クリニックです。これまでのクリニックのイメージと異なり、人々が優しい雰囲気の中で集える場として「KOKAGE TERRACE」と命名しました。呉地区に専門クリニックの設立は初となります。開設により、市民の方の安心、そして地域の課題解決の一助となる存在をめざしてまいります。

2021  
NEW

医療 介護  
交流

KOKAGE TERRACE  
木陰の様にほっと休みたくなる環境

まち・ひと

## 04 コミサロプロジェクト 全世代型社会保障を目指す地域振興のために



介護予防のために、地域をサポートするプロジェクトを推進します。コミサロとは、コミュニティサロンの略称で、サロンを通い場とし、地域の体制整備を行うことで入院介護の体制から地域全体での介護ケアを目指す中心的な位置づけを担います。地域づくりによる介護予防促進事業です。





# 医療法人社団 和恒会の沿革

- 昭和35年 9月10日 **開設許可**
- 昭和36年 4月 1日 早川伴和が広大広に早川病院(51床)を開設
- 昭和37年 4月 第2病棟(69床)を増築
- 昭和44年11月 第3病棟(72床)を増築
- 昭和58年 2月26日 森川龍一が院長に就任
- 昭和63年 4月 **208床に増床**
- 平成 6年11月 1日 **医療法人社団和恒会に改称し、森川龍一が理事長に就任**
- 平成 7年 6月 1日 早川浩が院長に就任
- 平成 9年 4月 1日 現在地(広白石)に移転し、ふたば病院に改名  
介護老人保健施設バナケイアを併設
- 5月 1日 精神療養病棟、精神科デイケアを設置
- 6月 1日 訪問看護ステーションふたばを併設
- 8月 1日 老人性認知症疾患治療病棟(現在は認知症治療病棟)を設置
- 平成10年11月 1日 精神科デイナイトケアを設置
- 平成12年 6月 1日 在宅介護支援センターふたばを併設
- 平成13年 4月 1日 居宅介護支援事業所ふたば、訪問介護事業所ふたばを併設
- 4月 1日 精神障害者生活訓練施設、地域生活支援センター、
- 平成14年 認知症対応型共同生活介護事業を併設
- 平成15年 4月 1日 精神科デイナイトケアを増設
- 平成17年 8月 1日 ふたば居宅介護支援事業所宮原、ふたば訪問介護事業所宮原を開始
- 3月18日 織田一衛が院長に就任
- 4月 1日 精神科デイナイトケアを縮小する
- 平成18年 9月 1日 重度認知症患者デイケアを設置
- 4月 1日 短期入所生活介護事業所ふたばの里を開設  
呉市川尻・安浦地域包括支援センターを開設  
ふたば保育園を開設
- 平成20年12月 1日 認知症対応型通所介護事業ふたばの集いを開設  
小規模多機能型居宅介護事業ふたばセンターを開設  
認知症対応型共同生活介護事業ふたばホームを開設
- 高齢者専用賃貸住宅ふたばハイツを開設**
- ふたば訪問介護事業所白石を開設

- ローマオリンピック開催
- NHK朝の連続テレビ小説放送開始
- テレビアニメ「サザエさん」放送開始
- 東京ディズニーランド開園
- 大江健三郎氏がノーベル文学賞受賞
- 阪神・淡路大震災
- 消費税率を5%に引き上げ

- 三宅島噴火で全島民避難
- アメリカ同時多発テロ事件
- 小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ
- 北朝鮮が核実験・ミサイルも発射
- 米大統領選でオバマ氏当選

- 平成21年 9月 1日 通所介護ふたばの憩いを開設
- 平成22年 3月 1日 特定施設入居者生活介護ふたばハイツ(30床)を開設
- 平成23年12月 1日 **サービス付き高齢者向け住宅ふたばハイツIIを開設**
- 平成24年 4月 1日 共同生活援助・共同生活介護事業所ふたばの朝を開設
- 10月 1日 特定施設入居者生活介護ふたばハイツを53床に増床
- 12月26日 **織田一衛が理事長に就任**
- 平成25年 2月 7日 **認知症疾患医療センターを開設**
- 平成26年 5月14日 電子カルテ(Alpha)稼働
- 平成27年 1月 1日 高見浩が院長に就任
- 2月12日 持ち分なしの医療法人へ移行
- 12月 1日 特定施設入居者生活介護ふたばハイツII(68床)を開設
- 平成28年 2月 5日 **ふたば病院 日本医療機能評価機構の認定**
- 4月 1日 共同生活援助さくらんぼを開設
- 平成29年10月 1日 介護老人保健施設バナケイア施設長に石井孝二が就任
- 平成30年10月 1日 ふたば病院 6病棟 精神療養病棟(54床)から地域移行機能強化病棟(54床)へ移行
- 令和 元年 9月 1日 ふたば病院 208床から197床に減床(11床削減)
- 令和 2年10月 1日 医療法上 許可病床数変更 197床→186床(11床削減)  
(186床の内訳)
- 認知症治療病棟入院料1(3病棟) 50床
- 精神病棟入院基本料2(中央病棟) 46床
- 精神療養病棟入院料(5病棟) 44床
- 精神療養病棟入院料(6病棟) 46床
- 令和 3年 4月 2日 ふたば病院 日本医療機能評価機構の更新

- 新広島市民球場完成
- 小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還
- 地上デジタル放送に完全移行
- 富士山が世界文化遺産に登録される
- 米、キューバ国交正常化
- カープが25年ぶりにリーグ優勝
- イチローが現役引退
- 中国・武漢で新型コロナウイルス発生



地鎮祭(平成6年5月)



和恒会建設直後(平成9年4月)



和恒会空撮(平成9年12月)



〈ふたば病院の理念〉

ふたば病院は「和」のころを「恒」に以って、みなさまに安心して信頼される病院を築いてまいります。

〈基本方針〉

1. 私たちは、人権の尊重と倫理の遵守に基づいた医療を提供いたします
2. 私たちは、相手(接する人)の気持ちを思いやり、尊重するように努めます
3. 私たちは、日々研鑽し、医療サービスの向上に努めます
4. 私たちは、医療に携わる人材の育成に努めます
5. 私たちは、地域精神医療の中核的役割を果たし、地域に貢献できるよう努めます
6. 私たちは、持続可能な医療サービスを提供できる体制を構築するよう努めます



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。



2040年までに、主要な疾患を予防・克服し、100歳まで健康不安なく人生を楽しむためのサステナブルな医療・介護システムを実現する。



働き方改革による企業の成長、働きがいのある企業をめざす。



子どもから高齢者まで健康不安なく人生を楽しむための精神医療・介護システムをめざす。

外来担当 令和3年4月1日～

		月	火	水	木	金	土
1	1診 午前			石井		石井	
	1診 午後		石井	石井			
2	2診 午前	今中(新)	小鶴(新)	高見(再)		長野(千)	
	2診 午後					長野(学)	
3	3診 午前	新宮(再)	今中(再)	福本(再)	小鶴(再)	福本(新)	
	3診 午後	新宮(再)	今中(再)	福本(再)	小鶴(再)	今中(再)	
4	4診 午前	坂尾(再)		新宮(新)	高見(新)	高見(再)	
	4診 午後	坂尾(再)					

※土曜日・休日は休診

### 広報誌へのご意見ご感想募集

「ほっとNEWS」へのご意見・ご感想を募集しています。住所、氏名、年齢、ご意見をご記入の上、右記宛先までおはがき、Eメール、またはFAXでお送りください。抽選でQUOカード500円分をプレゼントします。

宛先 〒737-0143  
 広島県呉市広白石4丁目7-22  
 医療法人社団 和恒会 統括事務局

Eメール futaba@wakokai.jp  
 FAX 0823-70-0557



## 医療法人社団 和恒会

日本医療機能評価機構

TEL.0823-70-0555 FAX.0823-70-0557  
 〒737-0143 広島県呉市広白石4丁目7-22

和恒会

検索

<https://wakokai.jp/>



- ・ふたば病院
- ・介護老人保健施設 バナケイア
- ・高齢者複合福祉施設 ふたばの街
- ・特定施設入居者生活介護 ふたばハイツII
- ・短期入所生活介護事業所 ふたばの里
- ・訪問介護事業所 ふたば
- ・居宅介護支援事業所 ふたば
- ・共同生活援助 ふたばの丘
- ・共同生活援助 さくらんぼ
- ・地域活動支援センター ふたば
- ・呉市川尻安浦地域包括支援センター
- ・広島県認知症疾患医療センター